

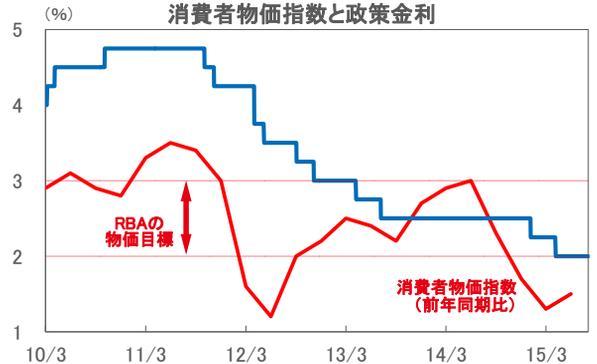
今日のトピック

豪中銀、4会合連続の政策金利据え置き

ポイント1 過去最低の2%に据え置き

インフレ見通しも維持

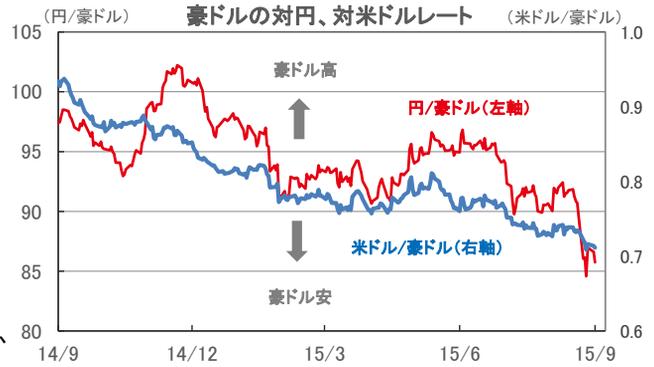
- オーストラリア準備銀行（RBA）は1日、政策金利を2.00%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、27名のエコノミスト全員が据え置きを予想していました。
- RBAは、前回会合同様、今後の経済や金融環境を見て現状の金融政策が適切か判断していくとしています。
- インフレについては、経済に余剰な生産力が存在するため、多少の豪ドル安でも、「向こう1～2年はインフレ目標に沿う」との予想が維持されました。



(注) 消費者物価指数は2010年1-3月期～2015年4-6月期。(年/月)
政策金利は2010年3月31日～2015年9月1日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 政策発表後、豪ドル安へ 豪ドル高の調整はほぼ完了

- 豪ドル円レートは政策発表直前に86.5円近くまで上昇しましたが、「金利据え置き」が発表されると、85.5円台まで下落しました。
- RBAは、前回の会合で豪ドル高の修正が進んだことを示唆しました。今回は為替について特段のコメントはなく、豪ドル高の調整はほぼ完了したと見ているようです。



(注) データ期間は2014年9月1日～2015年9月1日。(年/月)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 政策金利は当面据え置き、豪ドルは徐々に底堅い推移へ

- 景気は、これまでの利下げ効果などから、消費と住宅投資がけん引し緩やかに回復すると予想されます。
- RBAは、前回会合の議事録で、「トレンドを下回る経済成長率は今後、緩やかに加速し、2017年に3%を上回る」と見通しています。今回もこの見方が踏襲されたと考えられます。
- インフレは、失業率が高水準なことや資源価格の下落などから当面低位で推移する見込みです。
- 緩やかな景気回復と低インフレの持続により、過去最低の政策金利は当面据え置かれそうです。
- 豪ドル円レートは、日銀の金融緩和を背景に日豪金利差が維持されていることなどから、徐々に底堅い推移になると考えられます。

ここもチェック! 2015年8月26日 最近の指標から見る豪州経済（2015年8月）
2015年8月26日 中国は追加金融緩和で景気減速に対応

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。